

第3学年

学年主任 伊藤 友文

1 学年経営目標（3年間を見通した指導を行う。）

3年次 セルフコントロール

- ・最高学年としての自覚とプライドをもたせる。
- ・学校リーダーとしての行事参加を図る。
- ・将来へ向けての学習を進めさせる。

2 学年目標

太陽の学年

- ◇ 基本的な生活習慣を確立させよう。
- ◇ 社会や集団のルールを理解し、規律正しく行動しよう。
- ◇ 積極性や、粘り強さを大切にしよう。
- ◇ 思いやりを大切に行動しよう。
- ◇ ちがいを認め、助け合い、協力しよう。



3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	○基礎基本の定着 ○主体的で自主的な学習習慣の確立	・教室内の美化を保ち、集中できる学習環境に整える。 ・丁寧な教科指導と質問教室や補習教室を開いて個別指導を図る。 ・自学自習ノートの活用、定期テスト期間における計画表の活用を図る。
道徳教育	○他を認め、自分の意見を伝える力を身に付けさせる。 ○話し合い活動を通して自分の意見を深めさせる。	・毎回の授業の価値項目を伝え、ねらいがはっきりした授業を展開する。 ・生徒が発言しやすい雰囲気作りを行い、グループごとの話し合い活動や発表の場を設ける。
キャリア教育 (進路学習)	○自己を見つめ、より良い進路選択を行おうとする態度を育成する。	・将来の生き方を踏まえ、本人の意思に基づき、保護者とともに納得できる進路選択を支援する。 ・進路学習を通して、自己の課題を見つけ、課題解決能力や責任ある選択と行動やマナーを身に付けさせる。
生活指導	○基本的な生活習慣を確立し、規範意識を高める。 ○毎日のコミュニケーションを大切にし、生徒に寄り添った指導が行えるよう信頼関係を築く。	・細かいこともその都度声に出して指導する。 ・クラスやグループ、個人で起きたことも学年の問題として扱い、学年集会で共有して全体に注意喚起する。 ・毎日教室に「学年主任からのことば」を掲示してコミュニケーションをとる。
特別活動	○自分が果たす役割を認識させ、各自がそれらを遂行していく中で、生徒の自浄作用と相互作用を高め、集団生活を安定させる。	・部活動や委員会活動だけでなく教科係や当番などにも役割意識をもたせて、全員が責任ある活動ができるように促す。 ・生徒が中心になって取り組める行事や企画を作る。
保護者との連携	○タイムリーな情報発信を行い、開かれた学年を目指す。 ○家庭との信頼関係を築き、連携して生徒を育てる。	・学年通信の定期的な発行、HP記事のアップの頻度を高める。 ・細やかで丁寧な連絡を心掛ける。 ・面談や相談の場を大切に、家庭と学校の生徒のようすを共有する。

第3学年A組

学級担任 古賀 旭

1 学級経営目標

- 生徒全員が安心して過ごせる思いやりある学級を作る。
- システムをスムーズに循環させ、役割を担うことに意義を感じられる学級を作る。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

「あきらめない A（ええ）クラス」

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	（目標を達成させるための） 具体的な取り組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教室環境を整美し、学習に集中させる。 ・授業道具や提出物忘れを未然に防ぎ、高い学習意欲を維持させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを取り入れた整美。 ・教科系の指導の徹底、学活の規律、提出物提出状況表の活用。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・中心発問について深く考えさせると共に、友人の意見を受け止めさせることで道徳の授業を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのタイムリーな返却。 ・発言をしやすい雰囲気作り。他人の意見を真剣に聞く心の醸成。
キャリア教育 （進路学習）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションある進路指導を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の提供。（進路コーナー） ・信頼感を得るため、提出物チェックを迅速に行い、書類と共に会話も重視する。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自己有能感を高め、リーダーとして憧れられる存在でいたいと思わせる声かけを行う。 ・生徒のわずかな変化を見逃さず寄り添った指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係、当番活動を通じたグッドリーダー像の共有。誰でもリーダーになれるという情報発信。 ・連絡帳の毎日の返信。双方向のコミュニケーション。
特別活動	<p>行事を通して、豊かな感性を育てると共に、生徒による主体的な活動を計画し、達成感を味わわせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動で活躍する委員をフォーカスし、働くことの気高さを伝える。 	<p>綿密な計画を立て、生徒と教員が共通の思いを持った状態で活躍させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を必ず与え、その役割を周囲のために果たす経験をさせる。 ・行事ごとに情報を発信する（学級通信特別号発行）
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学級を目指し、現在起きていることの情報発信し、共に生徒を支える立場として協力をし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級通信の発行。 ・トラブルの時だけでなく、よい行いの時も電話や手紙連絡などを行い、情報を共有できるようにする。

第3学年B組

学級担任 鈴木 大貴

1 学級経営目標

- 自分の考えをもち、自主性をもって物事に取り組む姿勢を育む。
- 課題を見だし、解決・改善に向かうために、考え行動する力を育む。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

開雲見日

～ 雲を開いて 太陽を見る ～

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を定着させる。 ・主体的・自主的な学習習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解できていないところを明確にし、的確に問題を解決する方法を身に付けるための支援をする。 ・自学自習ノートを活用する。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、他者と議論を交わすことで、規範意識や道徳性を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらい、内容項目を理解させるとともに、考える時間を確保する。 ・グループでの話し合い活動や、意見を発表する場を設ける。
キャリア教育 (進路学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自分についての考えを深め、自分の進路を考え決めようとする姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習を通して、自己の課題を見つけ、課題解決能力や責任ある選択と行動やマナーを身に付けさせる。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の小さな関わりを大切にし、学校や社会のルールを守る姿勢や、規範意識を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の会話や連絡帳等でのコミュニケーションをとる。また、細かいことでも声をかけて指導をしていく。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に主体的に取り組み、課題を見だしながら、よくしていこうとする姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動、係活動、部活動を通して、役割を果たすことの重要性や組織の一員としての自覚を意識させる。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との信頼関係を築き、ともに見守り育てていく環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の連絡等による情報交換で、支援体制を家庭とともに整える。

第3学年C組

学級担任 大旗 章代

1 学級経営目標

- 自立した学級、けじめがある学級、思いやりがある学級

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

清く 正しく 美しく

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	家庭学習の質と量を充実させる。	継続的な家庭学習内容を設定し、取り組むよう指導する。 学習計画表を活用し、見通しをもって課題を解決できる姿を育む。
道徳教育	意見の発表や討論を通して、自らの考えを深めるとともに、他者の意見に耳を傾ける。	生徒が考え、議論する時間を積極的に設けるとともに、他者を思いやる態度を育てる。
キャリア教育 (進路学習)	自己理解を深める。 主体的に進路を選択する。	総合の時間や行事を中心として、自分の適性や得意なことなど、自分自身を深く見つめる時間を設定する。 授業や面談の時間を通して、保護者との連携をとりながら、生徒自身が進路決定できるよう支援する。
生活指導	いじめの未然防止に努める。 規範意識を徹底する。	学活や道徳などを通して、いじめは絶対にいけないという態度を育む。 最高学年としての日頃の生活を通して、率先してルールを守る姿勢を育む。
特別活動	自由と自治についての考えの育成。	○委員会や係活動など、クラスの中で一人一役はもたせ、それぞれの役割をしっかりと果たすよう指導する。
保護者との連携	保護者と密に積極的な連絡を行う。	特に進路決定に向けて、生徒自らが進路選択をできるよう、家庭と連携する。また、登校を渋りがちな生徒との連絡を密にし、登校できなくても進路が選択できるよう支援する。

第3学年D組

学級担任 渡辺 智仁

1 学級経営目標

- 集団生活の中で、自律の心と責任感をもち、主体的に行動する力を育む。
- 自らの進路について意志をもって決定し、笑顔で卒業を迎える。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

「共に 光輝く 時が来た」

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	○主体的に授業に取り組む習慣をもたせる。	・正しい姿勢で授業に臨むように心がけ、集中して授業に取り組む声掛けを行う。
道徳教育	○他者の意見をしっかり聞く習慣をもたせる。 ○自分の意見をしっかりもち、周囲に説明、主張ができるようにする。	・自分が話す時間と聴く時間のメリハリをつけることを常時伝えていく。 ・ワークシートのコメントについて、考えをより深められる内容を残す。
キャリア教育 (進路学習)	○自分が納得できる進路選択をする。	・具体的な進路情報を多く提供し、「なぜ」その進路を選んだのかを説明できる機会をしっかりと設ける。
生活指導	○ルール等を遵守する意義を理解し、自主的に遵守することに価値を見出せるようにする。 ○事件事故の未然防止、事後指導の充実を図る。	・生活指導上の問題があった時だけでなく、問題がない時にさらに良くすることを求めるように学級で伝えていく。 ・生徒の表情、休み時間での過ごし方など、アンテナを高く広くもって生徒と接していく。
特別活動	○与えられた役割に責任をもち、主体的に参加、実践していく姿勢をもたせる。	・教育目標でもある「自治」をキーワードとし、様々な役割の自覚と実践意欲をもてるように声掛けをしていく。
保護者との連携	○学校、家庭が連携して生徒の成長を見守り、支援できる体制を整える。	・保護者と情報交換できる機会を大切にし、報告だけでなく、相談や提案なども随時行っていく。

第3学年E組

学級担任 森田 莉香

1 学級経営目標

- 自他を大切にし、時間を守ることで、互いに信頼し合うことができる。
- 各々が自律することでその場に応じた言動を行い、自立ができる。
- 当たり前を継続し、一人一人が楽しいと感じることができる。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

E v e r y d a y
E v e r y b o d y
E x c e l l e n t

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	○見通しをもって計画的に学習することができる。 ○教え合いや学び合いが自然に生じる。	・自分ログや学習計画表などの活用を通して、計画の立て方を指導する。 ・班での活動やペアでの活動など、周囲の人と協力して行う活動をする。
道徳教育	○自分の考えを持ち、伝えることができる。 ○互いの意見や考え方が異なることを受容し、認め合うことができる。	・一人で考え取り組む時間と、意見を伝え合う場を設ける。 ・班だけでなく、学級全体でそれぞれの意見をみつめることで、個人の考え方に差があることに気付かせる。また、個の考えがあっていいことを認め、別々の考えをもつ人との共存の意味を考えさせる。
キャリア教育 (進路学習)	○自分の将来を考え、自分で進路を決める。 ○自己理解を深める。	・進路学習を通して、将来の生き方を深く考え、本人と保護者がともに納得できる進路選択の支援をする。 ・自己を見つめる時間を設けたり、キャリアパスポートやワークシートを用いて自己理解を図る。
生活指導	○事件や事故の未然防止に努める。	・自分ログを活用し、学校内外で起こったことにも気を配ることで、生徒たちの日々の変化に気付けるようにする。
特別活動	○自己有用感と自己肯定感を育む。	・行事、委員会、係活動、当番活動などを通して、クラスや学年で自分自身が役に立っていると実感できる場面を設ける。
保護者との連携	○各家庭と学級の役割を明確にし、多面的な生徒指導をする。	・些細なことでも連絡を取り合い、学校と家庭での様子を共有する。保護者と確認、相談しながら、よりよい指導を行っていく。

第3学年F組

学級担任 今村 吾朗

1 学級経営目標

- 人・もの・時間を大切にし、規律ある生活を送ることの出来る生徒
- 人間性・感性・技術 人間力を高め、感性を光らせ、技術を磨くことができる生徒

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

3F（Fun Flash Family）

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	（目標を達成させるための） 具体的な取り組み
学習指導	○授業規律を確立させる。話を聞く、時間を守る、高め合う。 ○家庭学習の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの徹底 ・自分ログの活用、教科系の育成 ・定期考査に向けて目標を設定し、具体的な計画づくりを行う。 ・自学ノートの継続的な提出
道徳教育	○他を認め、話し合う活動を通して他の意見と自分の意見や考えを捉えられるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間のねらいや内容項目を理解し、教材を構成する。 ・班で話し合ったり、個人の意見を発表したりして討論場面を設定する。
キャリア教育 （進路学習）	○自分の目標や夢を発見し、それに合った職業や学校、生き方について考え、具体的な行動できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を中心に主体的に活動できる場面を設定し、行動させる。 ・三者面談や二者面談などでやるべきことを伝え、意欲をもたせる。
生活指導	○安心・安全な学校生活を送り、自分の身を守る姿勢を身に付ける。 ○個を大切にした指導を行い、一人一人が安心して気持ちの内を話せる雰囲気を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ログのやりとりを励行し、コミュニケーションを積極的にとる。 ・安全指導を徹底し、毅然とした姿勢で指導する。
特別活動	○生徒一人一人が役割をもち、自分の存在を肯定的考えることができる自己有用感を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会、係、当番、日直などの役割を果たし、積極的に仕事に取り組む姿勢を育てる。 ・諸行事を全力で取り組ませ、セルフコントロールを実行させる。
保護者との連携	○話し合いを重ね、保護者との信頼関係を築く。 ○生徒との望ましい関係を築き、連携して生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・細やかなで親切的な連絡を心がける。 ・家庭とともに子供を育てる体制を構築する。